

別表 4 微生物学的検査項目（モルモット編）

Pathogen	発生頻度	定期/随時検査	カテゴリー
Sendai virus	定期	C	☆☆
<i>Bordetella bronchiseptica</i>	定期	B	☆☆
<i>Salmonella spp.</i>	定期	A	☆
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	定期	C	☆☆
<i>Streptococcus zooepidemicus</i>	定期	B	☆☆
<i>Clostridium piliforme</i>	定期	C	☆☆
<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>	随時	A/B	☆
<i>Eimeria caviae</i>	定期	B	☆☆

**定期／随時検査**

定期検査：検査実施頻度が 4 回/年以上を推奨する。

随時検査：特に検査実施頻度および検査動物数を定めず各施設の状態に応じて実施することを推奨するものである。

**カテゴリー**：「実験動物の微生物モニタリングマニュアル」（日本実験動物協会など、1989、2005）、「微生物モニタリングの実施要領とその解説

-モルモット、ウサギおよびハムスター編-」（日本実験動物協会、2012）、ICLAS モニタリングセンターの公表データ等のカテゴリーを参考に分類した。

**発生頻度**： ☆：過去 10 年程度国内での発生がほとんどない

☆☆：時々あり

☆☆☆：頻繁にあり